

第5・6学年 国語科（複式）学習指導案

日 時 平成21年9月30日（水）5校時
対 象 5年生 男4名 女3名 計7名
6年生 男1名 女1名 計2名
指導者 菊 地 耕

〔5年生〕

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
- 2 教材名 「ニュース番組作りの現場から」
「工夫して発信しよう」
(出典 光村図書 5年下)
補助教材「ペットたちに新しい家族を」
(自作)

3 単元について

(1) 児童観

児童は「サクラソウとトラマルハナバチ」で、文章の構成を理解しながら、要旨をとらえる学習をしてきた。また「言葉の研究レポート」「人との付き合い方」では、調べて整理し発表する活動や友だちさらに自分の考えを深めて書く活動を行い、文章を書く力も育ってきている。

情報を発信する学習では、自分たちの暮らしに密接した内容であると意欲を示す場合もあるが、様々な事象に対する関心が薄く、話題を見出すところからつまづく子がいる。「時間を表す言葉」「気をつけなければならないこと」等読みの視点を明確にするなど、主体的に読み取りの学習に取り組めるような手立てが必要な児童が多い。

(2) 教材観

本単元に関わる主な指導事項は、「事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。(書くことウ)や「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること」(読むことウ)について主に扱う。

第1教材「ニュース番組作りの現場からは、ニュース番組の特集の作り方について全体の流れを時間の進行に沿ってまとめた文章である。時間に沿って報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のやすく整理されている。そのため、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る力をつけることがあり方、伝え

〔6年生〕

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め自分の考えを伝えよう
- 2 教材名 「平和のとりでを築く」
「自分の考えを発信しよう／インターネットと学習」
(出典 光村図書 5年下)
補助教材「平和村から」(自作)

3 単元について

(1) 児童観

児童は「生き物はつながりの中に」で、文章の構成や表現の仕方から要旨をとらえる学習をしてきた。また、読み取った内容に関して自分の考えを明らかにする力も育ってきている。

説明的文章の読み取りに関しては、文章構成や語句の使い方、文末、筆者の主張や表現の工夫について考えることができる児童がいる。また文章全体を要約したり、自分の考えをまとめたりする力は不十分である。筆者の訴えたいことを読み取ったり、自分なりの意見をまとめたりする活動に対し、文の主語や文末表現に着目させながら詳しく読み取らせる等、きめ細かな手立てが必要な児童がいる。

(2) 教材観

本単元に関わる主な指導事項は、「事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」(書くことウ)や「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること」(読むことウ)について主に扱う。

第1教材「平和のとりでを築く」は「話題提示ー説明ーまとめ」という大きく3つのまとまりで構成されている。文章は簡潔で史実も編年体で構成されている。さらに原爆ドームの話題から世界平和を強く願う筆者の思いが、題名やまとめに凝縮されている。「平和」について自分なりの考えを

たい内容の絞り込み方等が、分かりやすい文章と考える。

第2教材「工夫して発信しよう」は、教材文の読み取りを生かし、自分が伝えたいことや相手が知りたいことを考えて、計画・取材・編集といった活動を通して、情報を発信する力を高めることができる教材である。

(3) 指導観

本単元は

①目的に応じて文章の内容を的確に押さえること

②事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること

の2つを学習する。発信の方法としてビデオニュース作りを行う。「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の作り方についてまとめた文章である。時間に添って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方などがわかりやすく述べられている。したがって、その後の「工夫して発信しよう」で自分が伝えたい情報を発信する際に「ニュース番組作りの現場から」に書かれた内容を学習の手引きとして活用させていきたい。

指導は以下のように行う。

見通す段階では、ニュース番組作りをすることを知り学習計画を立てる。

つかむ段階では、ニュース原稿を書く手がかりを教材文から学ぶ。

① 自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読み取る。

② ニュース番組作りでの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願い等を読み取る。

まとめる・ひろげる段階では、ニュース番組作りを行う。

① 必要な材料を集める。

② 自分たちが伝えたい内容が明確に伝わるように原稿を書く。

単元の振り返りで、情報を発信する相手を教室に招き、ビデオニュース発表会を行う。意見を交流しあい、自分に付いた力を児童が意識できるようにしていきたい。

持たせるのに適した内容と考える。

第2教材「自分の考えを発信しよう」は、平和というテーマに関わる多様な材料を集め、自分の考えを深め発信していく学習である。表現する力を高めることができる教材である。

(3) 指導観

本単元は

①書かれている内容について、事象と意見の関係を押さえ、自分の考えを持ちながら読むこと

②事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること

の2つを学習する。発信の方法として意見文を書く活動を行う。「平和のとりでを築く」は、事実を述べて部分と意見を述べている部分が、主語や文末表現、述べている内容などから判断しやすい文章である。文章構成に着目して考えれば、筆者の主張がとらえやすい。「自分の考えを発信しよう」では、未来に向けて自分の意見を発信する際に「平和のとりでを築く」の書き方を参考にさせていきたい。

指導は以下のように行う。

見通す段階では、意見文を書くこと知り学習計画を立てる。

つかむ段階では、意見文を書く手がかりを教材文から学ぶ。

① 筆者の思いや考えがわかる大事な文や言葉をキーワードとして扱い、要旨をまとめる。

② 筆者の伝えたいこと、問題としたことについて自分の考えをまとめる。

まとめる・ひろげる段階では、意見文作りを行う。

① 発信する目的と相手方法などを決める

② 自分の考えを「仮の要旨」としてまとめ、それに説得力を持たせる材料を集める。

③ 要旨を確定させ、意見文を仕上げる。

単元の振り返りで、出来上がった意見文を思い出ビデオに録画し、意見を交流しあい、自分に付いた力を児童が意識できるようにしていきたい。

4 目標

	5年生	6年生
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自分たちの番組作りに必要な事項を的確に読み取り、活用する。 ○ 伝えたいことをどのように伝えるかグループで考え、形にして発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 筆者が伝えたいことを読み取り、それについて自分の考えを持つ。 ○ 平和についてさらに考えるために調べたり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく組み立てて交流する。
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の訴えを受けて自分なりの考えを持ち、平和について関心を持って読んだり話し合ったり書いたりしようとする。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、キャスターにふさわしい適切な言葉づかいで話すことができる。(Aイ) 	
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。(Bウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。(Bウ)
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自分たちがニュース作りに必要な事柄を、的確に押さえ、事実と感想、意見などとの関係をとらえることができる。(Cウ) ○ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することができる。(Cイ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 平和に関する本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(Cオ) ○ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすることができる。(Cウ)
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、活用することができる。(イ(キ)) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、活用することができる。(イ(キ))

5 単元の評価規準

	5年生	6年生
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の訴えを受けて自分なりの考えを持ち、平和について関心を持って読んだり話し合ったり書いたりしようとしている。
話す能力・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、ニュースを伝えるに適切な言葉づかいで話すようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめている。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図表やグラフ等効果的な資料を用いて、自分の考えが伝わるように書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫している。 ・ 自分たちがニュース作りに必要な事柄を、的確に押さえ、事実と感想、意見などとの関係をとらえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和に関する本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりしている。
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、活用している。

6 単元でつきたい力

< 5 年生 >

- ・ 目的に応じて文章の内容を的確に押さえる力
- ・ 目的に応じて文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する力
- ・ 取材した事柄と自分の考えとを区別して書く力
- ・ 話の構成を工夫したり、場に応じた適切な言葉づかいで話したりする力

< 6 年生 >

- ・ 目的に応じて文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する力
- ・ 目的に応じて文章の内容を的確に押さえて、要旨をとらえる力
- ・ 事実と感想、意見などを区別して、目的や意図に応じた文章を書く力
- ・ 意見文を発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする力

	学習活動	主な学習内容	評価規準【評価方法】	Cの児童への支援	
見通す ①	<ul style="list-style-type: none"> 単元名から学習内容を知り、6年生の学習との共通部分と違う部分に気づく。 テレビニュース風の原稿と新聞風の原稿とを読み比べ、様々な発信方法を知る。 ビデオニュースの良さを考える。 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> ニュース 発信の意味 映像の良さ 考えと材料 	<ul style="list-style-type: none"> テレビニュース風の原稿と新聞風の原稿とを読み比べ、ビデオニュースの良さを理解している。 【読】 ワークシート	☆会話文に着目させ、それが映像として流れる様子をイメージさせる。	
	②	<ul style="list-style-type: none"> 誰に何を伝えるかという目的意識を持ち学習計画を立てる。 単元意味調べが必要な言葉をおさえ、国語辞典を活用して調べさせる。 新出漢字、語句の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識 新出漢字 新出語句 ディスク、スタッフなどの専門用語 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字や語句についての理解を深めている。 【言】 ノート	☆国語辞典の使い方、接続詞等既習事項を復習する。
つかむ ③	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を読み、撮影までの番組作りの過程で大事な点や工夫を読み取る。 自分たちのニュース番組を作る際、撮影までの過程や大事な点を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスク等の専門用語 複合語 必ずしも～ない。 接続詞「では」 時間を表す言葉 	<ul style="list-style-type: none"> 撮影までの番組作りの過程で大事な点や工夫を読み取り、表にまとめている。 【読】 ワークシート	☆時間を表す言葉、撮影までの番組作りを表す言葉に印をつけさせ、撮影までの過程を理解させる。	
	④	<ul style="list-style-type: none"> 編集や原稿作りの特徴と工夫を読み取りまとめる。 自分たちが編集したり原稿を書いたりする点での工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 複合語 編集のしかた 放送原稿の書き方 時間を表す言葉 	<ul style="list-style-type: none"> 編集や原稿作りの過程で大事な点や工夫を読み取り表にまとめている。 【読】 ワークシート	☆時間を表す言葉、原稿作りまでの番組作りを表す言葉に印をつけさせ、放送までの過程を理解させる。
ひろげる ⑤	<ul style="list-style-type: none"> 「工夫して発信しよう」を読み、ビデオニュースを作るまでの過程を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画 必要な材料 配列 加工 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオニュースを作るまでの過程を理解している。 【読】 ワークシート	☆昨年度の5年生が作ったビデオニュースを視聴させ、ビデオニュース作成までの過程を確認する。	
	⑥	<ul style="list-style-type: none"> 読み取ったことをもとに、自分たちの企画書を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識 相手意識 企画書の書き方 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの力で情報を発信しようという願いをもって、目的に沿った企画書を書いている。 【読】 ワークシート	☆教材文を振り返り、特集のねらいや会議の内容に照らし合わせ、企画書についての理解を深める。
	⑦ ⑧	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの企画書に沿って、放送原稿を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 放送原稿の書き方 目的や意図に応じた構成 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて必要な材料を集め、構成や配列を考えて伝えたいを明確になるように考えて放送原稿を書いている。 【書】 原稿用紙	☆教材文を振り返り、放送原稿の書き方の内容及び様子について理解を深める。
	⑨	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの企画書に沿って、録画し編集作業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 選択 配列 加工 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいを明確になるように考えて編集作業を行っている。 【関】 観察	☆教材文を振り返り、取材の仕方、編集作業等の内容について理解を深める。
⑩	<ul style="list-style-type: none"> 情報を発信する相手を教室に招き、ビデオニュース発表会を行う。 活動を振り返り、計画・実行について自己評価・総合評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を発信する意義 情報を発信する意図 情報を受け取る側の心構え 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオニュースの良さを理解しながら、今までの活動を自己評価・相互評価している。 【関】 観察	☆評価項目を明らかにし、自分たちの活動を客観的に振り返ることができるようにする。	

	学習活動	主な学習内容	評価規準 【評価方法】	Cの児童への支援	
見 通 す ①	<ul style="list-style-type: none"> 単元名から学習内容を知り、5年生の学習との共通部分と違う部分に気づく。 説明文と意見文を読み比べ、その違いについて考える。 意見文の書き方を理解する。 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> 意見文 発信の意味 意見文の書き方 考えと材料 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文と意見文の違いに気づき、意見文の書き方について考えている。 【読】 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ☆文末の違いなどに着目させながら、意見文の書き方について考えさせる。 	
	②	<ul style="list-style-type: none"> 誰にどのように伝えるかという相手意識を持ち、学習計画を立てる。 意味調べが必要な言葉をおさえ、国語辞典を活用して調べさせる。 新出漢字、語句の確認をする。 戦争や平和に関する読書をしたり、戦争や平和に関する自分の家族の経験や考え等を聞いたりすることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識 新出漢字 新出語句 原爆ドームに関する言葉 歴史に関する言葉 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字や語句についての理解を深めている。 【言】 ノート	<ul style="list-style-type: none"> ☆国語辞典の使い方、接続詞等既習事項を復習する。
つ か む ③	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を読み、事象と筆者の意見とを分けて読み取る。 事象と意見との文末表現の書き方を考え、自分が意見文を書く際の参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実を述べる文末表現 自分の意見を述べる文末表現 	<ul style="list-style-type: none"> 文末表現に着目し、叙述に沿って事実と意見や考えを分けて読み取っている。 【読】 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ☆日頃の自分たちが書いている作文を例に文末表現について理解させる。 	
	④	<ul style="list-style-type: none"> 史実と筆者の意見の書き方を照らし合わせ、筆者の願いや文章構成が尾括型になっていることを読み取る。 筆者の意見を要約し、要旨をとらえる。 要旨について考え、自分が意見文を書く際の参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 要約 筆者が用いる語句「いましめる」「むごたらしい」等 尾括型 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の意見を要約し、文章に込めた筆者の願いや書き表し方を読み取っている。 【読】 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ☆日頃自分たちが書いている作文で用いない言葉にサイドラインを引かせ、筆者の願いの強さを感じさせる。
	⑤	<ul style="list-style-type: none"> 史実をどのように活用しているかを考え、筆者の要旨の展開の仕方について話し合う。 要旨に説得力を持たせるために必要な資料、引用、具体例、対比などの事実について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を表す言葉「1915年」「1945年」等 材料には「資料」「具体例」「引用」等 	<ul style="list-style-type: none"> 要旨に説得力を持たせるには、資料等の材料が必要であることを理解している。 【読】 発言	<ul style="list-style-type: none"> ☆材料には「資料」「具体例」「引用」等があることを理解させ、ある時とない時の違いから、その効果を味わわせる。
ひ ろ げ る ⑥	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の考えを発信しよう」を読み、意見文を作るまでの過程を理解する。 どんな意見文にしていくかを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画 必要な材料 配列、加工 	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を作るまでの過程を理解している。 【読】 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ☆昨年度の5年生が作ったビデオニュースを視聴させ、ビデオニュース作成までの過程を確認する。 	
	⑦	<ul style="list-style-type: none"> 平和について自分の考えを明らかにし、仮の要旨を決める。 意見文の構成メモを作る。 互いに構成メモを交流し助言し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮の要旨 構成メモ 互いのメモの交流、 	<ul style="list-style-type: none"> 平和についての自分の考えを明らかにし、メモを書いている。 【書】 構成メモ	<ul style="list-style-type: none"> ☆筆者の要旨に応えるように学習を展開させ、平和について自分の考えを持ちやすいようにさせる。
	⑧	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の構成を確定し、材料を集めたり選んだりする。 要旨を確定させ、文章を書く。 要旨や材料について交流し助言し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 確定した要旨 資料、引用、具体例 構成 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な材料を活用して意見文を書いている。 【書】 作文原稿	<ul style="list-style-type: none"> ☆集めた材料と仮の要旨を比べさせ、意見文の効果的な展開の仕方を考えさせる。
	⑨	<ul style="list-style-type: none"> 文章を清書し、発表会の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文末表現 	<ul style="list-style-type: none"> 発表会に向けて、資料や原稿を用いて意欲的に練習している。 【関】 観察	<ul style="list-style-type: none"> ☆助言を与えながら、児童が意欲を持って練習に励む事が出来るようにする。
⑩	<ul style="list-style-type: none"> 平和に対する意見文を発表し合う。 録画された物を見ながら、意見を交流し合う。 自己評価・相互評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見の交流 	<ul style="list-style-type: none"> 平和について自分の考えを聞き手に分かりやすく発表している。 【話・聞】 観察	<ul style="list-style-type: none"> ☆評価の観点を明らかにし、発表や評価がしやすいようにさせる。 	

＜ 5 年 生 ＞

8 本時の指導（1 / 10）

（1）授業の構想

本時は第1時を扱う。仮説1に関わって、本時でつけたい力は「目的に応じて文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する力」である。

仮説2に関わっては次の通りに行く。「つかむ」の段階では、単元名や単元のねらいを6年生のものとは比べさせる。その表記をじっくりと考えさせ、学習内容・活動内容を理解させる。ニュースの作り方の概要をつかませ、自分たちのビデオニュース作りへの意欲を高めたい。

「たしかめる」の段階では、考えを深める場面として、説明だけが書かれた新聞風の原稿、映像付きのビデオニュース風の原稿を比べさせる。その後国語リーダーを中心として共通点・相違点等を話し合わせる。「まとめる」の段階では、目的に応じたそれぞれの情報の発信の仕方をまとめ、ビデオニュースのよさについて確かめさせたい。

（2）目標

自分たちが情報を発信するため、ビデオニュースの概要やその良さを理解する。

（3）展開

指導上の留意点(・) 支援(⊕) 評価(⊗)	主な学習内容	○ 学習活動 ・ 予想される子どもの学習状況	段階	形態
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通導入を図る。 ・ 共通点「発信」の意味を確認する。 ・ 相違点からニュース作りに取り組む等今後の活動を見通させる。 ・ ビデオニュース作成に向けて、ビデオニュースについて知る必要があることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発信 ・ ニュース 	<ol style="list-style-type: none"> 1 5年生と6年生の単元名と単元のねらい、教材名について比べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通している所 「発信」 ・ 違うところ 「ニュース」 2 本単元の学習内容を知り、「ビデオニュースを作ろう」という単元の学習課題を確認する。 3 本時の学習課題を立てる。 	見 通	直 接
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">本時の課題</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ビデオニュースについて考えよう。</div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の5年生が作成したものを視聴させ、自分たちでもニュースが作れることを確認する。 ・ 感想を取り上げながら、ニュース、言葉づかい、カメラワーク等に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースの題材 ・ 丁寧な言葉づかい ・ カメラワーク 	<ol style="list-style-type: none"> 4 昨年度の5年生が作ったビデオニュース「学校の秘密の部屋」を視聴し、感想を交流し合う <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">発表例</div> <p>「秘密の部屋の様子がわかった。」 「丁寧な言葉遣いで紹介している。」 「大切な所を映している。」</p> </div>	す 10 分	10 分

< 5 年生 >

<p>㊦ 新聞風の原稿、ビデオニュース風の原稿の二つを比べ、その違いについてシートにまとめている。</p> <p>㊧ 会話文に着目させ、それが映像として流れる様子をイメージさせる。</p> <p style="text-align: center;">発表例</p>	<p>・新聞風の原稿 ・ビデオニュース風の原稿</p>	<p>5 学習の手順を明らかにする。 ① ひとり学び ② 学び合い ③ まとめる ④ 振り返る</p> <p>6 ひとり学びをする。 新聞風の原稿、ビデオニュース風の原稿の二つを比べて、ワークシートにまとめる。 A 説明だけが書かれた新聞風の原稿 B 映像を考えて構成されたテレビ風の原稿</p> <p>7 国語リーダーが中心となって黒板にまとめ、感想を交流し合う。(学び合い)</p>	<p>た し か め る 25 分</p>	<p>間 接 20 分</p>
<p>③</p> <p>・子犬の大きさ、色などの特徴を書いている。</p>	<p>②</p> <p>・犬の姿、形を書いている。</p>	<p>①</p> <p>・天気を書いている。 ・人数、様子を書いている。</p>		
<p>・新聞、ビデオニュースの他、インターネットなど他の媒体についても考える。</p>	<p>・映像のよさ ・その他の媒体</p>	<p>8 映像があることの良さを教師とともに振り返り、様々なニュースの発信の在り方を確認する。</p>	<p>直接 5 分</p>	
<p>㊦ ビデオニュース風の原稿から、映像のよさをまとめている。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ビデオニュースは、様子や表情など映像と説明でより分かりやすく伝えることができる。事実と考えとを区別して伝える。</p>	<p>・事実 ・自分の考え</p>	<p>9 6年生の学習との共通部分を確認し、ビデオニュースについてまとめる。</p>	<p>ま と め る 10 分</p>	<p>直 接 10 分</p>

<ul style="list-style-type: none"> 誰に意見文を発信するかを考えてくることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の仕方 相手意識 	10 分	10 分	直接
		11 分	10 分	まとめ
		12 分	10 分	

(4) 板書計画

< 5 年生 >

<p>本時のまとめ ビデオニュースは、様子や表情など映像と説明でより分かりやすく伝えることができる。事実と感想とを区別して伝える。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 5px;">③</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 5px;">②</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 5px;">①</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 5px;">新聞風のニュース</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 子犬の大きさ、色などの特徴を書いている。 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 犬の姿、形を書いている。 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 天気を書いている。 人数、様子を書いている。 </td> <td style="padding: 5px;">ビデオニュース風の原稿</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 話しかけている言葉が分かる。 犬、少女の様子を映像で伝えている。 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 犬の姿、形は言わないうで映像で伝えている。 困っている言い方 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 天気、人数、様子を映像で伝えている。 </td> <td></td> </tr> </table>	③	②	①	新聞風のニュース	<ul style="list-style-type: none"> 子犬の大きさ、色などの特徴を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 犬の姿、形を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 天気を書いている。 人数、様子を書いている。 	ビデオニュース風の原稿	<ul style="list-style-type: none"> 話しかけている言葉が分かる。 犬、少女の様子を映像で伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 犬の姿、形は言わないうで映像で伝えている。 困っている言い方 	<ul style="list-style-type: none"> 天気、人数、様子を映像で伝えている。 		<p>本時の学習課題 ビデオニュースについて考えよう。</p> <p>「ニュース番組作りの現場から」 清水 建宇 「工夫して発信しよう」</p> <p>目的に応じた伝え方を考えよう 「ニュース番組作りの現場から」 清水 建宇</p>
③	②	①	新聞風のニュース											
<ul style="list-style-type: none"> 子犬の大きさ、色などの特徴を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 犬の姿、形を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 天気を書いている。 人数、様子を書いている。 	ビデオニュース風の原稿											
<ul style="list-style-type: none"> 話しかけている言葉が分かる。 犬、少女の様子を映像で伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 犬の姿、形は言わないうで映像で伝えている。 困っている言い方 	<ul style="list-style-type: none"> 天気、人数、様子を映像で伝えている。 												

＜ 6 年 生 ＞

8 本時の指導（1／10）

（1）授業の構想

本時は第1時を扱う。仮説1に関わって本時でつけたい力は「目的に応じて文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する力」である。

仮説2に関わっては次の通りに行く。「つかむ」の段階では、単元名や単元のねらいを5年生のものとは比べさせる。その表記をじっくりと考えさせ、学習内容・活動内容を理解させ、平和について意見文を書き、記念ビデオを作ることを確認する。

「たしかめる」の段階では、「平和村からA」「平和村からB」という2つの文章を比べ読みさせる。説明文で書かれた文章と意見文で書かれた文章の共通点・相違点をじっくり考え、ワークシートにまとめさせる。その後、国語リーダーを中心に意見文の書き方を確認させていきたい。

「まとめる」の段階では、考えの発信する方法を確認し、今後の活動への意欲を高めたい。

（2）目標

自分の考えを発信するために、意見文の書き方を理解する。

（3）展開

形態	段階	○ 学習活動 ・ 予想される子どもの学習状況	主な学習内容	指導上の留意点(・) 支援(⊕) 評価(⊗)
直接 見 通 す	5 分 10 分	1 5年生と6年生の単元名と単元のねらい、教材名について比べる。 ・ 共通している所「発信」 ・ 違うところ 「意見文」	・ 発信 ・ 意見文 ・ 記念ビデオ	・ 共通導入を図る。 ・ 共通点「発信」の意味を確認する。 ・ 相違点から意見文を書くこと等今後の活動を見通させる。
		2 本単元の学習内容を知り、「意見文を書き、それを記念ビデオの収める」という単元の学習課題を確認する。 3 本時の学習課題を立てる。 本時の課題 意見文について考えよう。		・ 意見文を書くことを知り、意見文について知る必要があることを確認する。
間接	5 分	4 学習の手順を明らかにする。 ① ひとり学び ② 学び合い ③ まとめる ④ 振り返る		

< 6 年 生 >

間 接 10 分 か め る 25 分	た し 10 分 か	<p>5 ひとり学びをする。 説明文「平和村から」と意見文「平和村から」の2つの文章を比べて、共通点・相違点を読み取り、ワークシートにまとめる。 A 平和村から（説明文） B 平和村から（意見文）</p> <p>6 国語リーダーが中心となって黒板にまとめ、感想を交流し合う。（学び合い）</p> <p>発表例</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%; text-align: center;">④</td> <td style="width:25%; text-align: center;">③</td> <td style="width:12.5%; text-align: center;">②</td> <td style="width:12.5%; text-align: center;">①</td> <td style="width:25%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">深いきずをおった分、平和を願っている。</td> <td style="text-align: right;">平和村と名前の由来</td> <td style="text-align: right;">平和村の紹介</td> <td style="text-align: right;">国によって平和の様子が違うこと</td> <td style="text-align: center;">共通点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">・主語「私は」 ・私たち日本人の使命 ・「動きだそう」という強い誘い (文章の最後に自分の決意)</td> <td style="text-align: right;">・なぜだろうか。 ・みなさん ・知ってほしい。</td> <td></td> <td style="text-align: right;">・「知らなくていいだろうか。」という強い言い方</td> <td style="text-align: center;">意見文らしい書き方</td> </tr> </table>	④	③	②	①		深いきずをおった分、平和を願っている。	平和村と名前の由来	平和村の紹介	国によって平和の様子が違うこと	共通点	・主語「私は」 ・私たち日本人の使命 ・「動きだそう」という強い誘い (文章の最後に自分の決意)	・なぜだろうか。 ・みなさん ・知ってほしい。		・「知らなくていいだろうか。」という強い言い方	意見文らしい書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文 ・意見文 <p>㊦ 2つの原稿から説明文と意見文の書き方のちがいを読み取ることができたか。</p> <p>㊧ 文末表現や呼びかけの文に着目させ、その効果を考えさせる。</p>
	④	③	②	①														
深いきずをおった分、平和を願っている。	平和村と名前の由来	平和村の紹介	国によって平和の様子が違うこと	共通点														
・主語「私は」 ・私たち日本人の使命 ・「動きだそう」という強い誘い (文章の最後に自分の決意)	・なぜだろうか。 ・みなさん ・知ってほしい。		・「知らなくていいだろうか。」という強い言い方	意見文らしい書き方														
直接 10 分	間 接 5 分	<p>7 教師とともに意見文の書き方について確認する。</p> <p>発表例</p> <p>「意見をはっきりと述べている。」 「呼びかけるように書いている。」</p> <p>8 意見文の書き方について自分でまとめを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文末表現 ・呼びかけ ・問いかけ ・「私は」という主語 ・最後の意見の集約 ・まとめの言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の解説的な文面と、意見文の筆者が訴えかけるような文面とのちがいから、受ける印象を確認する。 ㊦ 意見文の書き方について、理解しているか。 ・「呼びかける」「訴える」等大切な言葉を用いて自分でまとめを書かせる。 														
直接 10 分	ま と め る 10 分	<p>9 5年生の学習との共通部分を確認し、意見文ついてまとめる。</p> <p>発表例</p> <p>意見文の書き方は、訴えたりと呼びかけたりするように書いていく。 事実と考えを区別して伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事実 ・自分の考え 	<p>㊦ 学習を振り返り意見文の書き方をまとめている。</p>														

A 新聞風の原稿

- ① 八月二十日、動物愛護センターでは近くの公園で「ゆずり渡し会」を開いた。一度は捨てられた犬たちのために、新しい飼い主を探すための会だ。
- 青空の下、この日は五十人近くの人々が参加し、百匹以上の犬を目の前にして、とても楽しそうにペットを選んでいった。
- ② 夫婦で参加した山田さんは、自分が気に入った犬と奥さんが気に入った犬がちがってしまっていた。
- 山田さんは大型の黒くたくましい犬を気に入ったのに対し、奥さんは、茶と白のかわいい小型の犬が気に入ってしまった。二人でどちらにしようか相談していた。
- ③ この日、一番はじめに新しい飼い主が決まったのは、茶色と黒の一匹の雑種の犬だった。体長は、五センチメートルくらいのおおききで、飼い主になった小学一年生の女の子が抱っこしやすい大ききだった。女の子は、その犬を大切に抱っこしながら、何度も話しかけていた。

B ビデオニュース風の原稿



① 「ゆずり渡し会」の様子



② 意見が分かれた山田さんご夫婦



③ この日一番はじめに決まった飼い主

- ① 八月二十日、動物愛護センターでは近くの公園で「ゆずり渡し会」を開いています。一度は捨てられた犬たちのために、新しい飼い主を探すための会です。
- ② こちらは山田さんご夫婦です。

「決まりましたか。」

山田「僕は「の子にしようと思うけど、僕の奥さんが『その子がいい』と言うので……。二匹は飼えないなあ……。」

「そうですね。では仲良く相談してください。」

③ この日一番はじめに新しい飼い主が決まったのは、この子犬です。

女の子「もうさびしくないからね。ずっといっしょだよ。」

子犬 「ワン」

ゆずり渡し会って本当に素晴らしいですね。

※ 写真は熊本県動物愛護センターホームページより抜粋

ロンドンの平和村について

A 説明文

① 私たち日本人は、安全で豊かな暮らしをしている。しかし、世界のどこかで今も戦争が続き、命がうばわれたり、食べ物がなくうえたりしている人たちもある。国によってこんなにちがいがあるときを、私たちは知らない。

② ロンドンの「平和村」という施設には、地らいなどをふみ、手や足などがなくなった子たち、顔や体に大ヤケドをしまった子たちが暮らしている。

③ 「平和村」とい名前は、「世界から戦争がなくなっしてほしい」という子どもたちの願いから名付けられた。

④ 今日も、戦争で深いきずを負った子どもたちは、心から平和を願い暮らしている。

B 意見文

① 私たち日本人は、安全で豊かな暮らしをしている。世界のどこかで今も戦争が続き、命がうばわれたり、食べ物がなくうえたりしている人たちもいる。国によってこんなにちがう。私たちはこの事実を知らなくていいだろうか。

② ロンドンの「平和村」という施設には、地らいなどをふみ、手や足などがなくなった子たち、顔や体に大ヤケドをしまった子たちが暮らしている。

③ みなさん、なぜ「平和村」とい名前がつけられたのだろうか。ぜひ知っしてほしい。「世界から戦争がなくなっしてくれ。」という子どもたちの願いから名付けられたのだ。

④ 今日も、戦争で深いきずを負った子どもたちは、心から平和を願い暮らしている。私は「日本人は、平和に感謝しているだけではないけない。」「この現状を知らなくてはならない。」と思う。募金でも手紙でもいい。考えよう。そして動きだそう。